

# ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型) (愛称:ロイヤル・マイル)

本資料は、ベイリー・ギフォード社\*1のコメントを基に作成しております。  
\*1 ベイリー・ギフォード&カンパニーをベイリー・ギフォード社と呼ぶことがあります。

## 個別銘柄でみる 成長企業への長期投資

### 投資哲学

- LTGG戦略\*2では、成長が期待される企業を長期的に保有することで、大きなリターンの獲得をめざしています。投資においては株価が下落するダウンサイドリスクに目がいきがちですが、何十倍のリターンにもなる**アップサイドの可能性に着目**しています。
- 短期的な相場の変動に左右されることなく、**10年先を見据えた長期の視点で選び抜いた銘柄を“辛抱強く”保有**することが長期的にポートフォリオの価値創造を決定する重要な要素だと考えています。
- 卓越したリターンを生み出す企業を見つけるために「銘柄を選ぶ10のチェックポイント」を活用することで、企業調査において一貫性のある投資プロセスを踏むことが可能になり、過剰なデータやノイズに振り回されなくなると考えています。また、「銘柄を選ぶ10のチェックポイント」を用いるにあたり、**企業との対話(エンゲージメント)を重視し**、企業への影響力を最大化するために、長期的なボトムアップ分析に基づくエンゲージメントにすることを目指しています。
- 本資料では、ベイリー・ギフォード社LTGG戦略運用チームの「成長企業への長期投資」の考えがわかる事例をご紹介します。

\*2 当ファンドの投資対象ファンドで用いられる運用戦略(ロングターム・グローバル・グロース戦略)

### ■ 銘柄を選ぶ10のチェックポイント

(2024年5月末時点)

	<b>産業の魅力度</b>	1. 今後5年で売上が2倍になる余地があるか? 2. それ以降の見通しはどうか?
	<b>企業の競争力</b>	3. 競争優位な点は何か? 4. 企業文化は他社と明確に差別化されているか? 事業環境の変化に順応可能か? 5. なぜ顧客はその企業を好むのか? その企業の長期的な成長にとって最も重要な社会的要素は何か?
	<b>利益創出力の強さ</b>	6. 企業の稼ぐ力は魅力的か? 7. 企業の稼ぐ力は向上するのか? それとも低下するのか?
	<b>経営陣の資質</b>	8. どのように資本配分をしているのか?(設備投資、配当や撤退戦略等)
	<b>バリュエーション</b>	9. 株価が5倍以上になる可能性は? 10. なぜ市場は見過しているのか?

(出所)ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記チェックポイントは、今後変更されることがあります。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

本資料は、当ファンドの概要について投資家のみなさまにご紹介するために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。本資料では、ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンドを「ロイヤル・マイル」、ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)を「ロイヤル・マイル(予想分配金提示型)」とすることがあります。また、これらを総称して「当ファンド」、各々を「各ファンド」ということがあります。当ファンドの投資対象ファンドの運用は、ベイリー・ギフォード&カンパニーの100%子会社であるベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドが行います。「本資料に関するご注意事項等」の内容を必ずご覧ください。

# 株価が5倍以上になった銘柄からみる 運用チームの考え

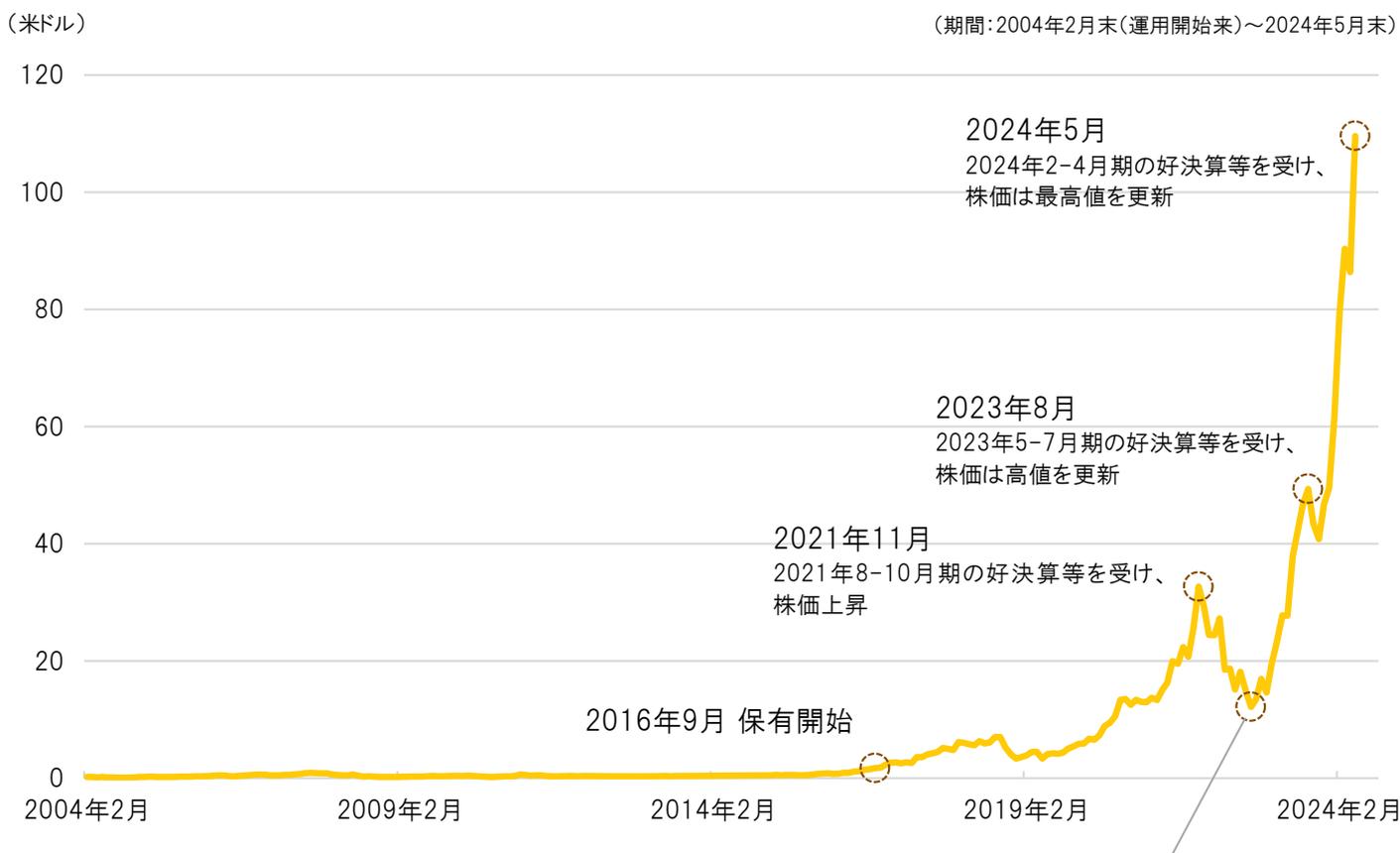
## エヌビディア

業種:情報技術 国・地域:アメリカ 組入順位:1位 組入比率:9.6%

エヌビディアは2024年2-4月期決算で、売上高は260.4億米ドル(前年同期比262%増)と発表し、市場予想を上回りました。また5-7月期決算の売上高見通しも市場予想を上回りました。こうした好決算は市場を驚かせ、株価は大きく上昇しました。運用チームは「銘柄を選ぶ10のチェックポイント」をもとにエヌビディアの成長シナリオを描き、2016年9月から保有しました。2021年11月から2022年9月にかけて株価は大きく下落しましたが、辛抱強く保有し続けたことで、さらなるリターンの恩恵を受けています。

下記は、LTGG戦略の代表ファンドのデータを用いています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

### 株価の推移



### ポイント

2021年11月から2022年9月にかけて、株価は63%下落しました。当時、運用チームは同社の財務状況は相対的に堅固で、長期的な成長ストーリーにも変化はないとみていました。本能的な「いじりたくなる衝動」に負けず、自らの長期投資の信念とプロセスを貫き、信じた銘柄を辛抱強く保有した例になります。

### 2022年9月

インフレ率の上昇、地政学リスクの拡大、脱グローバル化、景気減速懸念に直面し、株価は2021年のピークの半値以下まで下落

(出所)Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

上記は当ファンドの理解を深めていただくため、株価が5倍以上になった銘柄の事例として2024年5月末時点の組入1位の銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。保有開始時期は、代表ファンドのデータを用いています。組入比率は2024年5月末時点の投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。業種はGICS(世界産業分類基準)、国・地域はベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの定義に基づいています。株価は2024年6月の株式分割を反映しています。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。「本資料に関するご注意事項等」の内容を必ずご覧ください。

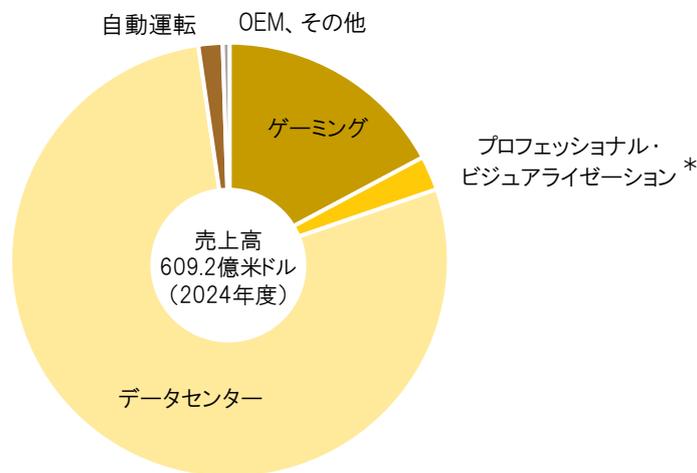
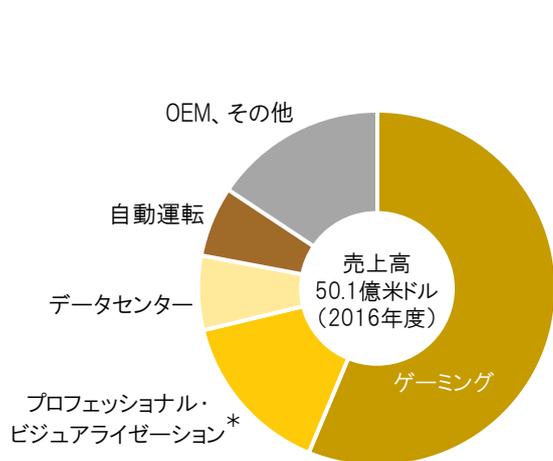
当時の運用チームのシナリオや状況、売上高の内訳

2016年 独自調査開始時

- 当時、GPU(画像処理半導体)は**ゲームなどグラフィックスを多用する処理に使用される特殊なチップ**でした。
- GPU市場の牽引役であるエヌビディアが、VR(仮想現実)や自動運転などの画像処理が重要となる産業の成長から恩恵を受ける可能性を見出していました。
- GPUの「タスクを迅速に処理する能力が、ディープラーニング(深層学習)に理想的である」と仮説をたてました。
- **AIの爆発的な普及が起こるとすれば、膨大なコンピューティングパワーが必要になると予測**しました。
- 他社の半導体の数百倍もの速さで計算を行うことができる**エヌビディアのGPUは、市場シェアを獲得する可能性**があり、潜在的に株価上昇シナリオがあると判断しました。

保有開始後

- エヌビディアの利益の半分は、ディープラーニングのような超ハイエンドのコンピューティングタスクを実行するための**データセンターに対し、GPUを販売**することによって得られました。GPUが他のチップよりこうした業種の処理に適していることは、すでに広く認識されていました。
- エヌビディアは自らを、AI分野も手掛けるゲーム関連会社ではなく、ゲーム分野を手掛ける**AI事業会社と見なしはじめました**。
- 保有開始時に想定したシナリオが実現し始めました。



\*プロ向けのソリューション提供

ポイント

保有開始時の2016年から2024年にかけて、エヌビディアの事業はゲーム向けからAI処理に必要なデータセンター向けへと移り変わりました。調査時の「銘柄を選ぶ10のチェックポイント」をもとにした成長シナリオで、AIの普及による恩恵を想定しており、その成長シナリオがうまくいった事例になります。



(出所)企業HP、ベイラー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

上記は当ファンドの理解を深めていただくため、株価が5倍以上になった銘柄の事例として2024年5月末時点の組入1位の銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。保有開始時期は、代表ファンドのデータを用いています。画像はイメージです。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。「本資料に関するご注意事項等」の内容を必ずご覧ください。

保有開始後の売上高と今後のシナリオ

エヌビディアのCEOが考えるコンピューティング(情報処理)の未来とそれを受けた運用チームの今後のシナリオ

【CEOの考えるコンピューティング(情報処理)の未来】

- 個々の半導体チップの設計に依存するのではなく、**ソフトウェアを含むシステム構成にシフト**していくと考えています。

【運用チームの今後のシナリオ】

- エヌビディアが設計する、半導体だけではなくソフトウェアを含むシステムは、高速なコンピューター処理が必要なAIの需要の急増に対応できると考えています。同社のビジネスモデルが「GPU市場の支配」から、同社が開発するソフトウェアをデータセンターへあわせ売りをする事で、「**全体のシステムごと支配するビジネスモデル**」になっていくと予測しています。
- 2016年に行った調査で挙げたエヌビディアの業績を牽引するVRと自動運転はまだ成長余地があり、他にもこのようなビジネスがあると考えています。



運用チームのメッセージ

社会はまだデジタル化の初期段階にあり、デジタル化がさらに進展するには、AIが不可欠です。エヌビディアは、ハードウェアとソフトウェアの両面でAI開発の中心に位置し、真に先見の明のある地に足の着いた経営を行ってきた確かな実績があります。さらに、生成AIの出現により、創造、プログラミング、教育、カスタマーサービスなどを、人間より優れたパフォーマンスで行うことが期待されています。新しい鉱物回収の方法、ロボット工学、エネルギー生成、医療などの分野で、今までにない新しいさまざまな種類の成長をもたらすと考えています。

成長株は今後も不安定で、値動きが大きくなることが予想されています。短期的に市場が過熱すぎたと感じた時には、私たちは一部売却し、他の保有銘柄に振り向けることも考えています。実際に、エヌビディアの保有当初から平均して年1回、そのような投資行動を取ってきました。しかし、長期的に見れば、エヌビディアの潜在的な株価上昇力は、まだ誰も評価できていない可能性があると考えています。こうした機会は今後にはめったにないことであり、エヌビディアのさらなる成長に期待しています。

(出所)Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

売上高(予想売上高含む、2024年6月18日時点のBloomberg予想値)は会計年度ごとに記載しております。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、株価が5倍以上になった銘柄の事例として2024年5月末時点の組入1位の銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。「本資料に関するご注意事項等」の内容を必ずご覧ください。

# 保有開始から全売却にいたるまでの運用チームの考え

## イルミナ

業種:ヘルスケア 国・地域:アメリカ

LTGG戦略では2011年6月からイルミナを組み入れ、2023年11月に売却し、約12年間保有しました。最初のリサーチノートの内容は、リスク回避志向の高い投資家にとっては驚くものかもしれませんが、これは成長が期待される企業を早期に見出し積極的に投資を行っていることをあらわしています。全てを失う可能性はあったものの、イルミナの株価は保有開始時から最大で6.6倍にまで上昇しました。

下記は、LTGG戦略の代表ファンドのデータを用いています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

### 当時の運用チームのシナリオや状況と株価の動き



2019年12月末～2020年12月末をコロナ禍として色付けています。

### 2011年6月 保有開始

- リサーチノートにあるとおり失敗する可能性は高い一方で、市場を調査すると、わずかではあるものの**当時まだ早期の段階にあった遺伝子解析市場がその後10年間で拡大する可能性**があり、イルミナが競争優位性を維持し、**同社の企業価値が5倍になるような市場**だと判断しました。
- 遺伝子解析技術がヘルスケアを変革し、より安価で、より個別化された効果的な疾病予防を実現する中心になっていくと考えました。

### ポイント

ダウンサイドリスクよりもアップサイドに注目して投資を実践している事例です。

(出所)Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

上記は当ファンドの理解を深めていただくため、保有開始から全売却にいたった事例として過去1年間の売却銘柄で最も長期間保有していた銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。保有開始時期は、代表ファンドのデータを用いています。業種はGICS(世界産業分類基準)、国・地域はベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの定義に基づいています。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。「本資料に関するご注意事項等」の内容を必ずご覧ください。

ロシュによる敵対的買収阻止とその後

2012年

スイス医薬品企業のロシュによる敵対的買収

- **ロシュは、イルミナの事業の長期的な可能性を著しく過小評価していると考えられる価格で、イルミナを買収しようとした。**
- ロシュによる買収が成功すればリターンが得られ、買収が失敗すれば株価が下落することは明らかでしたが、**買収に抵抗するイルミナの経営陣を支援し、議決権行使で反対票を投じたことで、ロシュによる買収を阻止しました。**

ポイント

運用チームは遺伝子解析の普及により、イルミナが莫大な収益機会を持つとみていました。買収による短期的なりターンを求めるのではなく、10年先を見据えた長期投資を実践していることがわかります。

ロシュによる敵対的買収阻止後の流れ

- その後数年間で、イルミナの絶え間ないイノベーションにより、**遺伝子解析コストは劇的に低下しました。**
- これによりイルミナの遺伝子解析装置は、**大学の研究機関をはじめとした学術領域を超えて臨床検査へと進出し、同社の市場機会は拡大しました。**ほぼ独占状態にあった同社は、価格決定力を持ち、ゲノム産業全体のイノベーションを牽引しました。

■ゲノム解析コストの推移



ご参考

2019、2020年

新型コロナ発生・流行でのイルミナの活躍

- 中国当局が2019年末に武漢で特殊な肺炎が数例発生したと世界保健機関 (WHO)に通知してから1週間以内に、**イルミナの遺伝子解析装置はウイルスの遺伝子コードを解析しCovid-19と特定**しました。これにより、モデルナは数日間でワクチン開発ができました。歴史的にみて、ワクチン開発には10年かかることもあったことを考えると、異例のスピードでした。
- 2011年保有開始時の時価総額が約90億米ドルだったイルミナは、2021年半ばには700億米ドルを超え、約8倍になりました。イルミナは、数年にわたってしばしばポートフォリオの最大級の保有銘柄の一つとなりました。



(出所)National Human Genome Research Instituteのデータ、Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

上記は当ファンドの理解を深めていただくため、保有開始から全売却にいたった事例として過去1年間の売却銘柄で最も長期間保有していた銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。画像はイメージです。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。「本資料に関するご注意事項等」の内容を必ずご覧ください。

グレイルの買戻しや競争激化の懸念

2020、2021年 グレイルを買収

- イルミナが2016年に分社化していたがん診断検査企業の**グレイルを買戻すこと、規制当局の承認前に買収を完了させたことに懸念**を抱きました。
- CEOと面談し、買収する理由などを確認し、その理由が納得できるものなのか理解を深めたいと考えました。
- 遺伝子解析コストの大幅削減と新型コロナウイルスの迅速な配列決定を含む疾患診断および治療において重要な役割を果たしていることや、グレイルと一緒になった場合はグレイルのがん検査から遺伝子解析への一連の商流ができることによる**事業拡大の可能性を鑑み、保有継続と判断**しました。

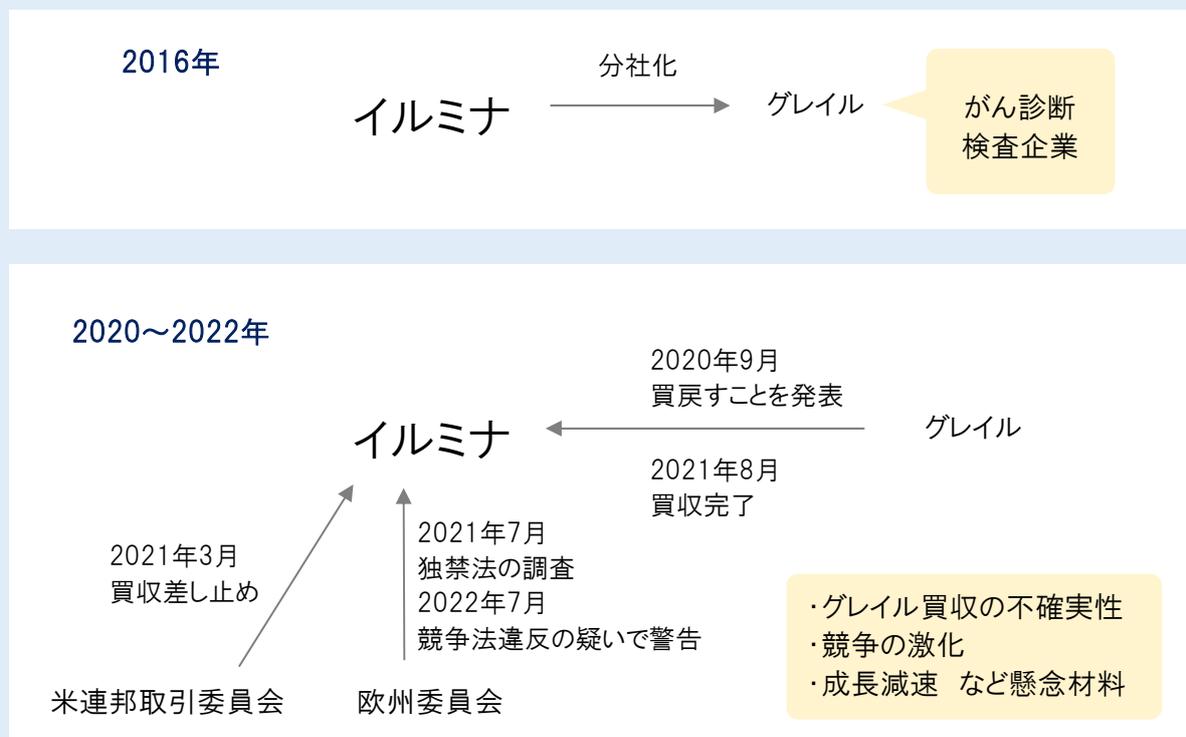
2022年 競争激化

- イルミナや他企業への調査を通じて、**遺伝子解析市場での競争激化について懸念**を抱きました。イルミナは遺伝子解析市場のグローバルリーダーであるにもかかわらず、成長が大幅に減速していました。その理由の一つは社内のイノベーション不足でした。イルミナの長期的な投資の実現に対する不安を反映して、2022年の終わりごろに同社の組入比率を引き下げました。

ポイント

簡単に手放すわけではなく、何度も経営陣と面談し、成長機会を模索し、辛抱強く保有しています。

概略図



・上記は概略図であり、全てを網羅するものではありません。

(出所)ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

上記は当ファンドの理解を深めていただくため、保有開始から全売却にいたった事例として過去1年間の売却銘柄で最も長期間保有していた銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。「本資料に関するご注意事項等」の内容を必ずご覧ください。

全売却にいたるまで

2023年 経営体制の刷新

- 年次株主総会に先立ち、イルミナの様々な取締役や経営幹部と数カ月間面談を重ね、リーダーシップと成長をめぐる課題やグレイルの買収について議論しました。**グレイルの買収による不確実性が、短期から中期にかけてイルミナの成功の大きな妨げの一つであるという見解**を維持しました。
- 年次株主総会后、CEOと会長は退任し、新しい取締役が取締役会に加わりました。経営体制の刷新後も、イルミナの競争力が長期的に低下することを深く懸念し続け、同社の保有株数をさらに削減しました。また「銘柄を選ぶ10のチェックポイント」に沿って、イルミナの投資ケースを見直したところ、成長率、利益率、経営の質、資本配分などの分野で**当初の期待から大きく乖離**していることが明らかになり、最終的に2023年11月に全売却しました。

運用チームのメッセージ

運用チームにとって最大のリスクは、卓越したリターンを生み出す企業を保有していないことによる持たざるリスクです。イルミナの中核ビジネスが成長の強さを証明し、グレイルの買収が行き詰まっていた状況が改善する可能性に基づいて、数年にわたり辛抱強く同社とエンゲージメントを行ってきました。しかし、最終的にはその両方に疑問符が残り売却にいたりしました。

売却が遅すぎたのか、早すぎたのかは、時間が経てば自ずと答えは出てくると思います。しかし、ここでより重要な問いは、「正当な理由で売却をしたのか？」ということです。遺伝子配列の解析をした人は、まだ全世界人口の1%未満であり、イルミナが遺伝子解析市場におけるほぼ独占的な地位、加えて強力な公的・私的医療の追い風があることを考えると、組入銘柄の中でも優れた成長率を持つ銘柄の一つだったと考えられます。

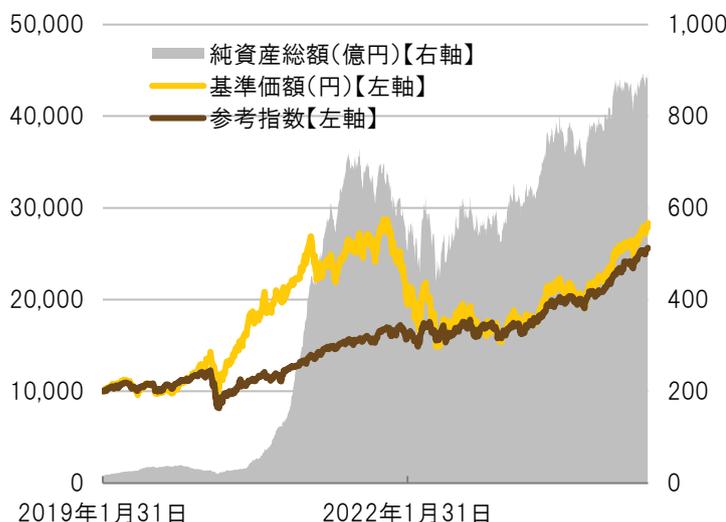
(出所)ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

上記は当ファンドの理解を深めていただくため、保有開始から全売却にいたった事例として過去1年間の売却銘柄で最も長期間保有していた銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

設定来の基準価額等の推移

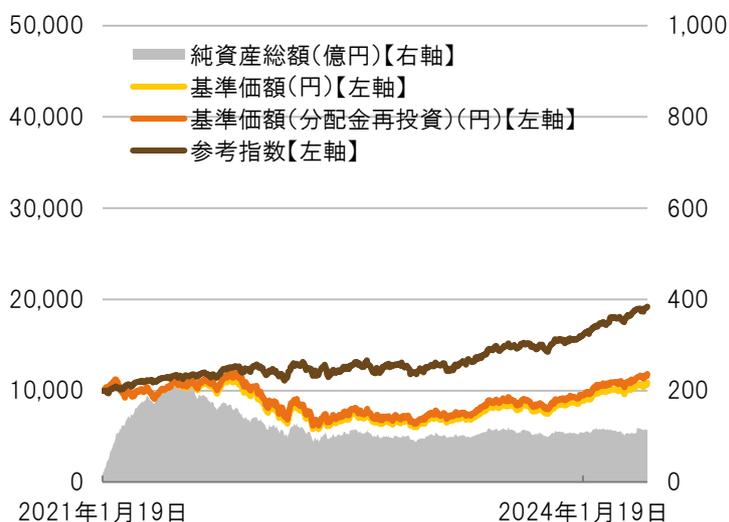
■ ロイヤル・マイル

(期間: 2019年1月31日~2024年6月14日)



■ ロイヤル・マイル(予想分配金提示型)

(期間: 2021年1月19日~2024年6月14日)



基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。ロイヤル・マイルは、表示期間において分配金のお支払いはありませんでした。参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス(配当込み、円ベース)を使用し、設定日翌々営業日を10,000として指数化しています。参考指数は、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については、後記の【本資料で使用している指数について】をご覧ください。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。「本資料に関するご注意事項等」の内容を必ずご覧ください。

**ファンドの目的** 日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

## ファンドの特色

- 1 長期の視点で成長が期待される世界各国の株式等に投資を行います。**
  - 外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドの円建外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式等(DR(預託証券)を含みます。以下同じ。)に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。
  - 投資にあたっては、国や地域、業種、時価総額に拘わらずに、個別企業に対する独自の調査に基づき、長期の視点で高い成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行います。
- 2 外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドが行います。**
  - ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドは、英国の独立系運用会社であるベイリー・ギフォード&カンパニーの100%子会社であり、英国外のお客様に対して資産運用・助言サービスを提供するための会社です。
- 3 原則として、為替ヘッジは行いません。**
  - 原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。
- 4 「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド」は、年1回の決算時(1月25日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)」は、毎月の決算日(毎月25日(休業日の場合は翌営業日))の前営業日の基準価額に応じた分配を目指します。**

### ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

### ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- 原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、以下の金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、以下に記載された分配金額が分配対象額を超える場合等には、当該分配金額としないことや分配を行わないことがあります。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。  
※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。  
※基準価額の値上がりにより、分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える分配金テーブルに該当することによって資金が不足する場合等は、テーブル通りの分配ができないことがあります。  
※上記表に記載された基準価額および分配金額は、予想に基づくものであり、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド、ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)は、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

### 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

## 投資リスク

基準価額の変動要因:基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ファンドの費用

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

◎お客さまが直接的に負担する費用

【**購入時手数料**】 購入価額に対して、**上限3.30%(税抜 3.00%)**  
販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。

【**信託財産留保額**】 **ありません。**

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

【**運用管理費用(信託報酬)**】

■**ファンド:** 日々の純資産総額に対して、**年率1.5895%(税抜 年率1.4450%)**をかけた額

■**投資対象とする投資信託証券:** 投資対象ファンドの純資産総額に対して**年率0.055%以内**(マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。)

■**実質的な負担:** ファンドの純資産総額に対して**年率1.6445% 程度(税抜 年率1.5000%程度)**

※ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。

【**その他の費用・手数料**】 以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。

- ・監査法人に支払われるファンドの監査費用
- ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
- ・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等
- ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
- ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等

※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※ 運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。ロイヤル・マイルについては、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。ロイヤル・マイル(予想分配金提示型)については、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※ ファンドの費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## 本資料に関するご注意事項等

- 本資料は三菱UFJアセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

【GICS(世界産業分類基準)について】

Global Industry Classification Standard (“GICS”)は、MSCI Inc. とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc. およびS&Pに帰属します。

【本資料で使用している指数について】

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)をあわせてご確認ください。

設定・運用は 三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号、加入協会:一般社団法人 投資信託協会/一般社団法人 日本投資顧問業協会

# 販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

(2024年6月24日現在)

■ ロイヤル・マイル

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号	○			
いちよし証券株式会社(IFA専用)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第24号	○	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
FFG証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第5号	○			○
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第6号	○			
三縁証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第22号	○			
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第21号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第3号	○			
大和コネクト証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3186号	○			
CHEER証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3299号	○	○		
株式会社千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	○		○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第6号	○			
株式会社中国銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第2号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
株式会社東邦銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第7号	○			
とほほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第36号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			○
株式会社栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第57号	○			
日産証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第131号	○		○	○
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			○
株式会社百十四銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○	
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第24号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号	○		○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○		
株式会社山形銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第12号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
JAバンク(JA/信連/農林中金) ※お取扱については、各JAバンクまたは委託会社までお問い合わせください。(注)一部のJAバンクではお取扱がない場合がございます。					

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 投資信託協会
三菱UFJアセットマネジメント株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号		○			○

# 販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

(2024年6月24日現在)

■ ロイヤル・マイル(予想分配金提示型)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
いちよし証券株式会社(IFA専用)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第24号	○	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	○		○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第6号	○			
株式会社中国銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第2号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			○
日産証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第131号	○		○	○
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			○
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○